

議事録

審議会等名	令和7年度第2回つくばみらい市健康づくり推進協議会
開催日	令和7年10月29日（水曜日）
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階 大会議室
出席者	出席委員 小田川会長、町田委員、海山委員、大岩委員、岩井委員、 小林委員、飯島委員、飯塚委員 欠席委員 青木委員、本多委員 事務局 片倉部長、石井課長、小菅課長補佐、反町係長、 倉持管理栄養士、堤精神保健福祉士 宮内（地域計画）
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次健康つくばみらい21プラン」に係る素案について ・今後のスケジュールについて ・その他
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後2時00分 ・会長あいさつ ・協議事項について <ul style="list-style-type: none"> ・「第2次健康つくばみらい21プラン（案）健康増進計画」について、事務局より説明し、質疑なしで承認とした。 ・「第2次健康つくばみらい21プラン（案）食育推進計画」について <p>質疑等</p> <p>質問 親子クッキングやヘルシークッキング、つくば市、つくばみらい市、常総市の3市の食生活改善推進員の交流会を通じて感じたことは、高齢の方でも料理ができない方がおり、私たち食生活改善推進員は、「誰一人取り残さない健康のための食事をみんなで作りましょう」をモットーとして食の重要性を伝えている。</p> <p>回答 年に5回ほど食生活改善推進員が集まる中央研修があり、食生活改善推進員の生の声を事務局として聞くことができ勉強になっている。今後も市民の食の状況などを共有し、事業に取り組んでいきたい。</p> <p>質問 朝食を一人で食べる子どもの割合で、中学生になると4割以上が一人で食べるとあるが、この原因は何か。</p> <p>回答 以前は部活動で朝練があり、朝食を食べずに行くことがあったが、今は部活動の朝練はないので、不思議な数字だと感じる。</p>

	<p>質問 アンケートは、中学生、小学生それぞれ誰が回答しているのか。</p> <p>回答 中学生は本人が回答、小学生は保護者が回答している。</p> <p>回答 朝ごはんを食べていない子は多いと思う。中学生になり、意識をして自分で回答するので、「食べていない」という回答が急激に出てくるのではないか。小学生のうちは、食べていなくとも、親が「食べている」と回答している可能性もあると思う。</p> <p>回答 実感としては、小学生は 80% くらい、中学生は 50% くらい食べていると感じている。</p> <p>回答 中学生の朝食を食べない理由として、一番が「時間がない」、次に「食欲がない」という意見があり、中にはダイエットをして食べないという意見もあった。成長期に朝食を食べないことに対する知識を改善するためにも、情報発信をしていく必要があると感じている。</p> <p>質問 朝時間がないということは眠いということ、眠いということは夜スマートフォンをいじったりしていることなどが関わってくるので、そこを深掘して突き詰めていかないと、ご飯のことだけではない気がする。</p> <p>上記案件については、修正内容を事務局一任とした。</p> <p>・「第 2 次健康つくばみらい 21 プラン（案）自殺対策計画」について</p> <p>質疑等</p> <p>質問 95 ページ、相談する相手がいない市民の割合とあるが、この市民とは何歳以上の方か。</p> <p>回答 アンケート調査の項目を参考にしている指標になるため、18 歳以上の方となる。</p> <p>質問 18 歳以上となるとこんなものかもしれないが、それでも結構低いと思う。それと、18 歳までの子どものパーセント、それに対する相談窓口などはどのように考えているか。</p> <p>回答 18 歳以下の方の割合については、細かなデータを持ち合わせていない。18 歳以下の方は、教育現場でも相談窓口に関する情報を発信している。その他、二十歳の集いにおけるリーフレット配布等、若い世代に対する啓発も行っている。</p> <p>質問 先日メディアにおいて、子どもに対する AI を活用した相談に取り組む自治体を取り上げられていた。相談件数が大幅に増えたようで、回答内容など課題もあると思う</p>
--	--

	<p>が、今後広がっていく可能性もあり、どのように考えているか。</p>
回答	<p>AI の活用について具体的な予定はないが、国や県では SNS を活用した若者向けの相談窓口もあり、現時点ではそれらの情報も含め、多くの方に知ってもらうため情報発信に努めている。</p>
質問	<p>93 ページ、児童生徒への啓発に関して、市民の取組として「誰かに相談しましょう」の「誰かに」の表現や、市の取組の「体制を整えます。」についても、どのように考えているか。市としてカウンセラーを設置するほか、県のカウンセラーも活用していると思うが、とても間に合わず厳しい状況である。相談体制について、教育委員会だけでなく、もう少しカウンセラー等を設置するなど、全体で検討いただきたい。その他、指標に「いじめの年度内解消率」とあるが、いじめだけが原因ではないと思われ、指標について検討が必要ではないか。家庭内の問題もあると思われ、家庭への啓発等についても、取り入れた方がよいのではないか。</p>
回答	<p>指標について、いじめだけでなく家庭内の課題等も想定されるため、指標の内容を改めて検討するほか、家庭への啓発等についても検討していきたい。</p>
質問	<p>93 ページの「いじめの年度内解消率」92.0%について、いじめの総数は何件あったのか。</p>
回答	<p>正確な件数はこの場で申し上げられないが、いじめの認知件数はそれ相応の数になる。さらにその中で、重大案件としての取り扱いは年数件となる。</p>
質問	<p>重大案件には入らないかもしれないが、いじめかもしれないというものを全部入れているということか。</p>
回答	<p>いじめの定義として、自分がいじめられたと感じればいじめなので、それらも扱うと件数は多くなる。</p>
質問	<p>悩んだ時に相談する「誰か」がいなくて、AI への相談も多いと聞く。AI の活用には関心がある反面、その回答を子どもが鵜呑みにして、そのまま進むことが正しいのか、判断が難しい。必要時に話を聴けるゲートキーパー養成にも取り組んでいると思うが、認知度はまだまだ低く、有資格者を対象としたものではないため、ゲートキーパーがどこまで介入してよいかの距離感も難しいように思う。</p>
質問	<p>AI について、かなりの精度で進化しており、人手不足</p>

	<p>の現状も含め検討してもらいたい。</p> <p>回答 まず、既存の相談窓口や情報を少しでも多くの方に知ってもらい、支援者や機関の連携についても取り組んでいきたい。AI の活用については今後の検討課題とし、国や県の取り組みも活用していきたい。</p> <p>質問 ゲートキーパー研修会の参加者が、その後相談を受けることはあるのか。</p> <p>回答 研修会後に相談を受けているかどうかは把握できておらず、今後は参加者へのフォローアップ研修会等も検討していきたい。</p> <p>質問 自殺予防週間等で、啓発や情報発信を行うとあるが、ゲートキーパーにも協力をしてもらっているのか。</p> <p>回答 現状では、ゲートキーパー研修会に参加した方への協力はお願していない。</p> <p>・「今後のスケジュール」について、事務局より説明し、質疑なしで承認とした。</p> <p>・「その他」について、質疑なし</p> <p>・閉会 午後３時１０分</p>
そ の 他	傍聴者０名